



# 山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

2016年12月6日 発行

平成28年第48週(11月28日~12月4日)

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※     :警報レベル

    :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第47週	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	8843 1.79	33 0.69	60 1.25	▲	3 0.15	16 0.80	▲	1 0.20	1 0.20		10 1.00	36 3.60	▲	19 1.46	7 0.54	▼	14093
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	3222 1.02	38 1.27	38 1.27		27 2.08	18 1.38	▼	1 0.33	2 0.67	△	7 1.17	7 1.17		3 0.38	11 1.38	△	1512
咽頭結膜熱	1180 0.37	11 0.37	8 0.27	▽	9 0.69	7 0.54	▽					1 0.17	△	2 0.25		▼	694
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6596 2.09	210 7.00	234 7.80	△	101 7.77	108 8.31	△		4 1.33	△	46 7.67	54 9.00	△	63 7.88	68 8.50	▲	6882
感染性胃腸炎	40607 12.85	706 23.53	1004 33.47	▲	323 24.85	447 34.38	▲	53 17.67	96 32.00	▲	246 41.00	317 52.83	▲	84 10.50	144 18.00	▲	9688
水痘	1883 0.6	23 0.77	18 0.60	▼	14 1.08	9 0.69	▽				2 0.33	4 0.67	△	7 0.88	5 0.63	▼	543
手足口病	2212 0.7	6 0.20	4 0.13	▼	2 0.15	1 0.08	▼				3 0.50	1 0.17	▽	1 0.13	2 0.25	▲	387
伝染性紅斑	403 0.13		4 0.13	△		1 0.08	△					2 0.33	△		1 0.13	△	1462
突発性発しん	1342 0.42	16 0.53	22 0.73	△	5 0.38	7 0.54	△		3 1.00	△	6 1.00	7 1.17	△	5 0.63	5 0.63		923
百日咳	39 0.01																20
ヘルパンギーナ	412 0.13	17 0.57	5 0.17	▽	8 0.62	2 0.15	▽	2 0.67	2 0.67		5 0.83		▽	2 0.25	1 0.13	▽	2932
流行性耳下腺炎	3110 0.98	50 1.67	63 2.10	△	16 1.23	18 1.38	△	4 1.33	17 5.67	△	28 4.67	26 4.33	▽	2 0.25	2 0.25		2837
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																1
流行性角結膜炎	489 0.71	1 0.13		▼	1 0.25		▼										65
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	8 0.02																20
クラミジア肺炎	15 0.03																4
マイコプラズマ肺炎	463 0.98	8 0.80	7 0.70	▼	3 0.75	6 1.50	▲	1 1.00	1 1.00		2 1.00		▽	2 0.67		▼	158
細菌性髄膜炎	8 0.02	1 0.10		▽	1 0.25		▽										7
無菌性髄膜炎	28 0.06																13

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	2				肺炎球菌ワクチン接種歴:4回 1件、無し 1件。
	患者	1				※第47週追加報告 肺炎球菌ワクチン接種歴:4回 1件。
梅毒	患者	2				

## <通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		2	2	4	3	3	3		4	7	4	16	5		合計
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									
	2	1	3		1										60
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	6	6	12	8	2	3								1	38
咽頭結膜熱			3	2	1	1		1							8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	12	7	28	33	27	31	23	19	45		2	234
感染性胃腸炎	8	30	83	82	115	131	141	107	64	55	44	100	5	39	1004
水痘			1	4	3	3	2	1		2		2			18
手足口病			2	1			1								4
伝染性紅斑							1		1			1	1		4
突発性発しん		9	13												22
百日咳															
ヘルパンギーナ			2	1			1	1							5
流行性耳下腺炎			2	4	7	22	11	5	4	6	2				63

<平成28年10月 月報>

2016年11月22日 更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	16	24	7	11	4	10	3	2	2	1	191
	定点当り	1.60	2.40	1.75	2.75	4.00	10.00	1.50	1.00	0.67	0.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	4	9	1	3	1	1	2	4		1	62
	定点当り	0.40	0.90	0.25	0.75	1.00	1.00	1.00	2.00		0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	4	3	4	1				1		1	29
	定点当り	0.40	0.30	1.00	0.25				0.50		0.33	
淋菌感染症	報告数	4	4		1			2	1	2	2	22
	定点当り	0.40	0.40		0.25			1.00	0.50	0.67	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	1	4			2			1	2		55
	定点当り	0.10	0.40			2.00			0.33	0.67		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	22	4	11	3	1	2	1	4	9	173
	定点当り	1.30	2.20	1.00	2.75	3.00	1.00	1.00	0.50	1.33	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

<トピックス>

【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第48週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

- 村山地区:A型 16件
- 最上地区:A型 1件
- 置賜地区:A型 36件
- 庄内地区:A型 7件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 11月30日現在)

今シーズン、県内では、AH1pdm2009型 5株、A香港型 2株が分離されています。

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第48週)

置賜地区:小学校 1件、介護老人保健施設 1件

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いと  
マスク着用を心がけ、  
体調管理に努めましょう。  
「かかったかな」と思ったら、  
早めに医療機関を受診しましょう。



【感染性胃腸炎情報】

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、県平均では、33.5人、地区別では、村山地区は34.4人、最上地区は32.0人、置賜地区は52.8人で警報レベルとなっています。

【警報開始基準値:20人 警報終息基準値:12人】

感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎は、冬季に患者数が増加し、その大半はウイルス感染によるものと推測される感染症です。また、年末の集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものと考えられています。

【症状】病原体によって異なりますが、主な症状は嘔吐、下痢、発熱です。

治療は、ウイルス性のものであれば対処療法が中心となります。

【予防法】最も重要で、効果的な予防法は「流水・石けんによる手洗い」です。

トイレ後、外出後、調理前、配膳前、食事前など、こまめに手洗いをしましょう。

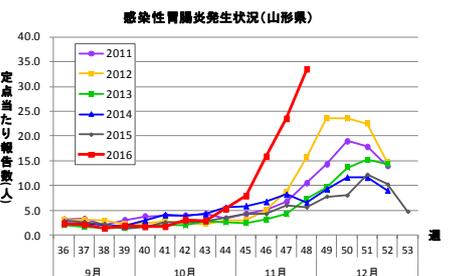
特にノロウイルスは感染力が強く、注意が必要です。

二枚貝を調理する際は中心

部まで十分に加熱し、使用した器具は熱湯消毒しましょう。

嘔吐物や下痢便にはノロウイルスが大量に含まれています。処理する際は、マスク・手袋を着用してください。

消毒は塩素系消毒剤で行う必要があります。消毒に家庭用漂白剤を使用する場合は、200倍程度に薄めて使用して下さい。



※参考URL:IDWR 2012年第43号<注目すべき感染症>感染性胃腸炎  
http://www.nih.go.jp/niid/ja/intestinal-m/intestinal-idwrc/2923-idwrc-1243.html